様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	日本写真芸術専門学校
設置者名	学校法人呉学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
画像専門課程	Ⅰ部３年制写真科総合写真研究専攻	夜・通信	4,920 時間	80×3＝240 時間	
	Ⅰ部３年制写真科フォトフィールドワーク専攻	夜・通信	5,040 時間	80×3＝240 時間	
	Ⅰ部３年制写真科フォトアート専攻	夜・通信	4,920 時間	80×3＝240 時間	
	Ⅰ部２年制写真科	夜・通信	4,920 時間	80×3＝240 時間	
	Ⅱ部２年制写真科	夜・通信	2,100 時間	80×2＝160 時間	
（備考）各学科ともに、選択科目を設置しており、学生たちは定められた科目数を開講授業から選択して受講する。					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

公式 Web サイト(https://npi.ac.jp/about/evaluation/)にて授業科目一覧と、実務経験のある教員のシラバスを公開。

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	日本写真芸術専門学校
設置者名	学校法人呉学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

名簿は本部事務局にて保管。請求があれば閲覧可能。

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	芥川賞作家	2020 年 6 月 10 日～2024 年 6 月 10 日	教育内容や学科編成に対する専門的知見
非常勤	元物販会社代表取締役	2020 年 6 月 10 日～2024 年 6 月 10 日	組織運営体制へのチェック機能
（備考）			

様式第２号の２－②【⑵-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第 2 号の２－①に掲げる法人以外の設置者（公益法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

１．大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

２．外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
（備考）		

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本写真芸術専門学校
設置者名	学校法人呉学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 教育レベル・学生の学力向上のため、授業を担当する教員は、授業内容、定期考査について検討・検証を必ず行う。その検証結果に基づいて講義・実習について授業計画の作成を行う。毎年度実施される講師会及び主任講師会議において、授業の到達目標及びテーマ、講義内容、実習内容、授業プラン、成績評価基準について協議を行い、すべての科目について担当教員はそれを記載・提出することを義務付けている。 翌年度の授業計画は、3 月までに担当者が作成し、主任講師の承認後決定し、授業計画を Web サイト上に公開する。	
授業計画書の公表方法	公式 Web サイト（https://npi.ac.jp/about/evaluation/）
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）
本校教育規定に基づき、単位履修及び成績、進級と卒業の要件について規定している。

以下、日本写真芸術専門学校　学校要覧　教育規定から抜粋

■出席基準

必修科目、選択科目

全授業回数の出席３分の２以上　審査資格を得る
出席３分の１以上　課題提出により審査資格を得る
出席３分の１未満　審査資格不可

特別科目

各授業や行事について全授業回数や日程の
出席３分の２以上　審査資格を得る
出席３分の２未満　審査資格不可

期末・進級・卒業審査

全課題提出　審査資格を得る
一部未提出　審査資格不可

■課題基準

各科目の担当講師が授業中に指示した課題、または掲示にて告知した課題を提出し平均点を算出する。課題には、提出規定(枚数や締切)があり、提出規約を満たしていない課題は無効とする。なお、特別科目については出欠基準のみで評価される場合もある。

各科目について全課題の４分の３以上を提出　平均点算出可
４分の３未満の提出　特別課題
全課題の合計点数÷課題数＝平均点 60 点以上　合格
平均点 59 点以下　再試験

■採点基準

各科目、期末審査など、担当講師が出席基準、課題基準を基に「技術力・発想力・処理能力・授業態度」なども総合的に判断し、下記 4 評価に基づき評価する。

〈評価〉	〈点数〉	〈合否〉
A　特に良い	80 点以上	合格
B　良い	70 点以上	合格
C　普通	60 点以上	合格
D　劣る	59 点以下	不合格

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 客観的な点数による評価を行い、上記教育規定内の規定により、Ａ～Ｃを合格、Ｄを不合格として採点を行う。またこの指標は学則および教育規定内で規定・公表されている。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	公式 Web サイト(https://npi.ac.jp/about/evaluation/)
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） ■進級認定　画像専門課程 1 年以上在籍し、進級審査に合格した学生で進級判定会議にて進級と判定された者。 ■卒業認定 画像専門課程　Ⅰ部写真科 3 年制 3 年以上在籍し、卒業に必要な 2,550 時間数以上の科目を履修し、卒業審査で合格した学生で、卒業判定会議にて卒業と判定された者。 画像専門課程　Ⅰ部写真科 2 年制 2 年以上在籍し、卒業に必要な 1,700 時間数以上の科目を履修し、卒業審査で合格した学生で、卒業判定会議にて卒業と判定された者。 画像専門課程　Ⅱ部写真科 2 年制 2 年以上在籍し、卒業に必要な 800 時間数以上の科目を履修し、卒業審査で合格した学生で、卒業判定会議にて卒業と判定された者。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	公式 Web サイト(https://npi.ac.jp/about/evaluation/)

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	日本写真芸術専門学校
設置者名	学校法人呉学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://npi.ac.jp/pdf/evaluation/taishaku_taisho.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://npi.ac.jp/pdf/evaluation/shushi_keisan.pdf
財産目録	https://npi.ac.jp/pdf/evaluation/zaisan_mokuroku.pdf
事業報告書	https://npi.ac.jp/pdf/evaluation/jigyo_hokoku.pdf
監事による監査報告（書）	https://npi.ac.jp/pdf/evaluation/kansa_hokoku.pdf

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化教養	画像専門課程	Ⅰ部３年制写真科 総合写真研究専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	3,600 単位時間／単位	1,320 単位時間/単位	単位時間/単位	2,280 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
150 人	90 人	21 人	18 人	2 人	20 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要） 授業内容、課題概要、到達目標の公開を各授業で実施している。 学生ひとりひとりの個性を引き出す個別指導、積極的な学生への支援、授業についていけない学生のフォロー、その他学生の個別相談に応じるなどの対応を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
32 人 （100%）	3 人 （9.4%）	22 人 （68.7%）	7 人 （21.9%）
（主な就職、業界等） （株）博報堂プロダクツ(広告制作)（株）ユニモト(映像制作編集)、 （株）キャラット(写真館)、ART WORKS STUDIO（スタジオ）他			
（就職指導内容） 応募書類作成指導、個別面談、模擬面接、会社説明会(学校内)、会社見学説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） 写真技能士検定３級、フォトマスター検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
104　人	12 人	11.5%
（中途退学の主な理由） 帰国(留学生)、大学進学、就職、進路変更、精神的な病気、など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個別面談と、様子が変わったときの個別面談で本人の悩みを聞きだす、など。		

<table>
<tr><th colspan="2">分野</th><th>課程名</th><th colspan="2">学科名</th><th>専門士</th><th>高度専門士</th></tr>
<tr><td colspan="2">文化教養</td><td>画像専門課程</td><td colspan="2">Ⅰ部３年制写真科
フォトフィールド
ワーク専攻</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業
年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総
授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">３年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">3,600
単位時間／単位</td><td>1,320
単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>2,280
単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">単位時間／単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
150 人	11 人	4 人	18 人	2 人	20 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照

成績評価の基準・方法

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照

学修支援等

（概要）
授業内容、課題概要、到達目標の公開を各授業で実施している。
学生ひとりひとりの個性を引き出す個別指導、積極的な学生への支援、授業についていけない学生のフォロー、その他学生の個別相談に応じるなどの対応を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5 人 (100%)	0 人 (　　0%)	5 人 (　　100%)	0 人 (　　0%)

（主な就職、業界等）
（株）GIZMO vanitoy bagel　（株）カンペールジャパン
(有)ギアスタジオギアハウス　他

（就職指導内容）
応募書類作成指導、個別面談、模擬面接、会社説明会(学校内)、会社見学説明会

（主な学修成果（資格・検定等））
写真技能士検定３級、フォトマスター検定

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個別面談と、様子が変わったときの個別面談で本人の悩みを聞きだす、など。また、退学よりも休学をして復学を目指せる選択肢も勧めた。実際に 1 名が退学ではなく休学している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化教養	画像専門課程	Ⅰ部３年制写真科 フォトアート専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	3,600 単位時間／単位	1,320 単位時間 /単位	単位時間 /単位	2,280 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
150 人	21 人	12 人	18 人	2 人	20 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照

成績評価の基準・方法

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照

学修支援等

（概要）
授業内容、課題概要、到達目標の公開を各授業で実施している。
学生ひとりひとりの個性を引き出す個別指導、積極的な学生への支援、授業についていけない学生のフォロー、その他学生の個別相談に応じるなどの対応を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
0 人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)

（主な就職、業界等）

（就職指導内容）

（主な学修成果（資格・検定等））

（備考）（任意記載事項）
2021 年度新設の為、卒業者数や中途退学の情報は無し。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20 人	6 人	30%
（中途退学の主な理由） 大学進学、進路変更、精神疾患など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個別面談と、様子が変わったときの個別面談で本人の悩みを聞きだす、など。 クラス単位でのホームルームの定期的な実施。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化教養	画像専門課程	Ⅰ部３年制写真科 フォトソーシャルビジネス専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	3,540 単位時間／単位	1,140 単位時間 /単位	単位時間 /単位	2,400 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
0 人	0 人	0 人	18 人	2 人	20 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照

成績評価の基準・方法

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照

学修支援等

（概要）
授業内容、課題概要、到達目標の公開を各授業で実施している。
学生ひとりひとりの個性を引き出す個別指導、積極的な学生への支援、授業についていけない学生のフォロー、その他学生の個別相談に応じるなどの対応を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
1 人 (100%)	0 人 (0%)	1 人 (100%)	0 人 (0%)

（主な就職、業界等）
（有）ギアハウススタジオギア

（就職指導内容）
応募書類作成指導、個別面談、模擬面接、会社説明会(学校内)、会社見学説明会

（主な学修成果（資格・検定等））
写真技能士検定３級、フォトマスター検定

（備考）（任意記載事項）
2022 年度卒業生をもって廃科。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1　人	0 人	0 ％
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化教養	画像専門課程	Ⅰ部２年制写真科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	2,400 単位時間／単位	720 単位時間/単位	単位時間/単位	1,680 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160 人	105 人	40 人	18 人	2 人	20 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照

成績評価の基準・方法

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照

学修支援等

（概要）
授業内容、課題概要、到達目標の公開を各授業で実施している。
学生ひとりひとりの個性を引き出す個別指導、積極的な学生への支援、授業についていけない学生のフォロー、その他学生の個別相談に応じるなどの対応を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
56 人（100%）	5 人（8.9%）	45 人（80.4%）	6 人（10.7%）

（主な就職、業界等）
（株）朝日新聞出版(出版社)、（株）ライトアップスタジオ(スタジオ)、
（株）イイノ・メディアプロ(スタジオ)、（株）らかんスタジオ(写真館)他

（就職指導内容）
応募書類作成指導、個別面談、模擬面接、会社説明会(学校内)、会社見学説明会

（主な学修成果（資格・検定等））
写真技能士検定３級、フォトマスター検定

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
127 人	19 人	15%
（中途退学の主な理由） 精神疾患、持病の悪化、公の場になじめない、経済的理由、帰国、ビザ不許可、大学進学など進路変更、など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個別面談と、様子が変わったときの個別面談で本人の悩みを聞きだす、など。また、退学よりも留年をして卒業を目指すことも勧めた。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化教養	画像専門課程	Ⅱ部２年制写真科		

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	夜	1,440 単位時間／単位	120 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,320 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120 人	40 人	0 人	18 人	2 人	20 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照

成績評価の基準・方法

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照

学修支援等

（概要）
授業内容、課題概要、到達目標の公開を各授業で実施している。
学生ひとりひとりの個性を引き出す個別指導、積極的な学生への支援、授業についていけない学生のフォロー、その他学生の個別相談に応じるなどの対応を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
14 人 (100%)	0 人 (0%)	13 人 (92.9%)	1 人 (7.1%)

（主な就職、業界等）
マックスタジオ(営業写真館)、ギアスタジオギア(スタジオ)、クロコ(動画制作)他

（就職指導内容）
応募書類作成指導、個別面談、模擬面接、会社説明会(学校)、会社見学説明会

（主な学修成果（資格・検定等））
写真技能士検定３級、フォトマスター検定

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41 人	3 人	7.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個別面談。		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
Ⅰ部３年制写真科 総合写真研究専攻	180,000 円	860,000 円	360,000 円	
Ⅰ部３年制写真科 フォトフィールドワーク専攻	180,000 円	860,000 円	360,000 円	
Ⅰ部３年制写真科 フォトアート専攻	180,000 円	860,000 円	360,000 円	
Ⅰ部３年制写真科 フォトソーシャルビジネス専攻	180,000 円	860,000 円	360,000 円	
Ⅰ部２年制 写真科	180,000 円	860,000 円	360,000 円	
Ⅱ部２年制 写真科	100,000 円	380,000 円	220,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 前年度評価について、学校ＨＰで公開している https://npi.ac.jp/pdf/evaluation/self-assessment-report.pdf		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
写真業界関係者や卒業生、近隣企業社員などで学校関係者評価委員会を組織し、各々の見地から学校運営や教育内容等について評価を行っている。 評価結果については総務課及び教務課において共有のうえ、次年度以降の改善に取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
大学　客員教授	2023 年 4 月 1 日～ 2024 年 3 月 31 日	学識経験者
写真スタジオ　取締役	2023 年 4 月 1 日～ 2024 年 3 月 31 日	業界関係者代表
地元企業　社員	2023 年 4 月 1 日～ 2024 年 3 月 31 日	地域代表
校友会会長	2023 年 4 月 1 日～ 2024 年 3 月 31 日	卒業生代表
学校関係者評価結果の公表方法		

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 前年度評価について、学校ＨＰで公開している https://npi.ac.jp/pdf/evaluation/school-official-evaluation.pdf
第三者による学校評価（任意記載事項）

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://npi.ac.jp/ https://npi.ac.jp/about/evaluation/